



あなたの地域の「ホットスポット」

子どもや高齢者を守るためにできること

★日本の認知症高齢者の数
・2012年→462万人
・2025年→約700万人
65歳以上の約5人に1人!

こんな時代がやってくる!

ホットスポットとは「外から入りやすく、見えにくい場所」の事です。子どもが犯罪に巻き込まれやすい場所となるため地域のホットスポットを把握し、普段からパトロールすることで犯罪の機会を狙う人への抑止力につながります。

(立正大学 小宮教授提唱「犯罪機械論」から抜粋)

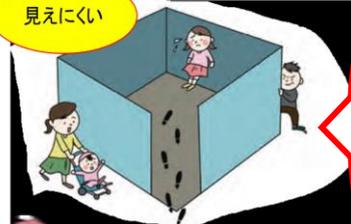
また、このホットスポットが実は、認知症の高齢者などが迷い込みやすい場所にもなり、行方不明となった場合に地域のホットスポットを探すことで早期発見につながるとも言われています。

(沖縄県認知症行方不明者家族の会)

入りやすい



見えにくい



犯罪が行いやすい場所：雰囲気

高齢者が行方不明になった際、迷い込みやすい場所でもある



くま ま~やが?



ちょっと休憩



オーバーどこ行った?

市内でホットスポットウォーク&マッピングを開催!

地域の方と一緒に歩いてホットスポットを探し、見つけた場所を地図へマッピング!

平和台

ウォーク: 令和3年10/22(金)
マッピング: 令和3年11/9(火)
参加者: 民生委員、福祉推進委員

周りから見えにくいね



長堂

ウォーク: 令和3年11/15(月)
マッピング: 令和3年11/22(月)
参加者: 老人会、民生委員、書記

危険だね



公民館から出発して地域を歩き、ホットスポットを探します!

長堂は大きな地域! まず近くの霊園へ行くことに!



誰が見てもわかるようにホットスポットの特徴をメモ!

(バンダ公園) 遊具の整備はされているが人目に付かないので子供一人では危ない!

「ホットスポット」は地図を作って終わりではなく、例えば、認知症について皆で学んだり、地域のパトロール隊と連携してホットスポットエリアの見回りをしたり、行方不明者が出た場合の地域の捜索態勢を整備するなど、地域でできる事を進めるきっかけにもなります!

3年後の日本では、5人に1人の方が認知症有病者という時代になると予測されています。認知症は誰がかかるかわからない病気、他人事にせず皆で支え合える地域づくりが必要です!



地域で行われている素敵な活動やゆんたく会などの細かい内容はすべて豊見城市社会福祉協議会のホームページ上にある“生活支援コーディネーターブログ”で紹介しています! うちの活動も見てほしい!という地域があれば、ぜひ声をかけてくださいね!

